



8/25～27、酪農日本一の町「北海道別海町」に、10代から30代の若者4人が訪問しました。日本マイクロソフトの「[テレワーク週間2015](#)」の一環で別海町に集まったIT企業が「テレワーク（情報技術を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方）」に取り組んでいる様子を見学するためです。「別海町留学」の様子と、参加した若者が何を感じ、学んだかをお伝えします。

「別海町留学」の概要

8/24：全国から若者が日本マイクロソフト（品川）に集合

8/25：東京から別海町に出発！ ロケーションに感動。宿泊させていただく「本覚寺」の「カラオケ説法」と、「阿弥陀バー」を、驚きながらお手伝い。

8/26：テレワークセンター見学。「新しい働き方」についてお話を聞かせていただく。お昼は日本一のパエリア。夜は、東京と北海道を Skype for Business でつないだイベントに参加。予定していた酪農体験ができずガッカリするも、「ジェイファームシマザキ」の島崎様のご厚意で、翌日、特別体験をさせていただくことに。

8/27：早朝、島崎様による特別体験をさせていただき、「現地の方への感謝」の気持ちも高まった中で、現地報告会にて、お世話になったみなさまに、学びと感謝の気持ちをお伝えさせていただく。午後の便で東京に戻る。

8/28：再び日本マイクロソフトで、送り出してくださった方々への報告会（ここでも Skype for Business を活用）を実施。

参加した若者の声（報告会の内容を抜粋）

▼ぼくは「通う」というのが苦手ということもあってテレワークに興味を持っていた。今回テレワークを行う上での制約が思ったよりも少ないということが分かったのは良かった。自分の地域も地方があるので、皆さんとは北海道に来た時の感動が違つかもしいないが、これから地域で住んでいくのも悪くないと思った。仕事が地域でもできる、ある、ということが分かって良かった（10代/男性）

▼テレワークとは企業や専門的な仕事をする人だけのものだと思っていたが、実際には職業を問わず使えるんだということが分かった。サテライトオフィスも同様に、あらゆる仕事・環境に応用可能だということが分かったし、また便利だと思った（10代/女性）

▼今回の別海町留学でテレワークは便利だということはすごくよく分かった。しかし、顔を合せて会うことが少なくなるのは、少し寂しいと思った。自分の好きなところで仕事ができる、というのはテレワークの大きな魅力だと思う。自分も自然がいっぱいなところで暮らしたいと思っている（20代/男性）

▼テレワークについて、はじめはクラウドソーシング+a程度のものに考えていたが、色々な方の話を聞いて、より広義で自由なことだと感じた。今回は廃校を舞台に色々なビジネスや遊びのアイデアが飛び出していたが、こんなふうに楽しいことを増やせるのは人の力だと思う。地方での暮らしに関しても、こんなふうに関放的に地方で暮らすのも良いなと思えてきた（30代/男性）

ツアーの実現にご協力いただいた皆様



COSMOPIA

